

事前評価書

年度	R1
整理番号	

事業名・路線名等	(単)道路改良事業 一般県道 <small>カサカケナオミテイジャジョウ</small> 笠掛直見停車場線 <small>シモナオミ</small> 下直見工区	事業主体	大分県
所在地	佐伯市直川大字下直見 <small>シモナオミ</small>		
事業概要	事業の目的	本路線は、沿線住民の生活道路として利用されており、緊急輸送道路の2次ネットワークに位置づけられている重要な路線であるが、今年8月の豪雨による道路冠水により約6時間にわたる全面通行止めが発生しており、車両の走行に対する安全性が確保されていない状況となっている。 このため、道路嵩上げによる冠水対策を実施し、洪水時孤立集落の解消、緊急車両の進入経路確保、生活道路の安全性の向上を図る。	
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=380m、W=6.0(10.0)m 【道路区分】 第3種第3級 【設計速度】 V=50km/h 【計画交通量】 390台/日(H42) 【現況幅員・交通量】 W=6.0(10.0)m 交通量 403台/日(H27センサス) 【重要構造物】 -	
	事業費	C=190百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から3年(令和4年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、詳細設計、用地測量 2年目 用地買収、道路工事 3年目 道路工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨時に冠水箇所が有り、走行性、安全性が低い。 ・冠水箇所が全面通行止めとなり、緊急時の移動が困難となる。 ・迂回路がなく、小規模集落の生命線道路となっている。 ・緊急輸送道路(2次ネットワーク)に位置づけられており、災害時の機能確保が求められる。 	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者の走行性、安全性の向上。 ・大雨時の緊急車両の通行が可能。 ・大雨時の孤立集落の解消。 ・ネットワークの強化。 	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	冠水対策事業のため、費用便益分析比の算出は困難であり、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断する	
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法、県道の構造の技術的基準等に関する条例に適合した工法を採用。 ・地元住民とともに現地の調査を行い、現道の嵩上げを計画し、費用を抑えて必要最低限の効果が期待できる計画となっている。 	
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・再生材を使用。 ・建設発生土を盛土材に利用。 	
	環境等への配慮	切土等の地形改変を極力少なくしている	
事業実施環境	事業の実効性	H27年度、H30年度に要望書が提出されており、地元からの早期事業化の期待は大きく、事業実施環境に問題は無い。	
	事業の成立性	道路法第29条に基づき事業を実施	
	事業の特殊性	-	
対応方針	以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

